Panasonic®



スピーカーシステム 取扱説明書

品番 SB-HEP20
(SB-AFC20×5台)

このたびは、スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電　保証書別添付

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

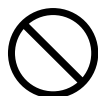
■お守りいただく内容を、次の絵表示で、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

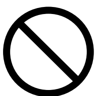
⚠注意

不安定な場所に設置しない



- 上に大きなもの重いものを載せない
- 取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

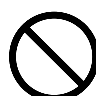
機器に乗らない

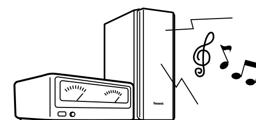




- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しない

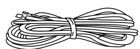




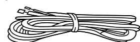
- 定格以上の出力を持つアンプに接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

付属品の確認

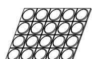
□スピーカーコード(長、サラウンド用)
(REE0970A)....................................2本



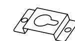
□スピーカーコード(短、フロント·センター用)
(REE0970).......................................3本

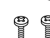


□ゴム足
(RFA0631A-K)............1シート(20個)
買い換え時は1シート(4個)です。



□壁掛け金具キット(サラウンド用)
(RYQ0332-K)...................................2個
- 壁掛け金具.....................(2個/キット)
- ネジ................................(4本/キット)





付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
( )内は買い替え時の品番を表します。

便利メモ (おぼえのため記入されると便利です。)

販売店名	☎ (　　) −	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎ (　　) −	品番	SB-HEP20

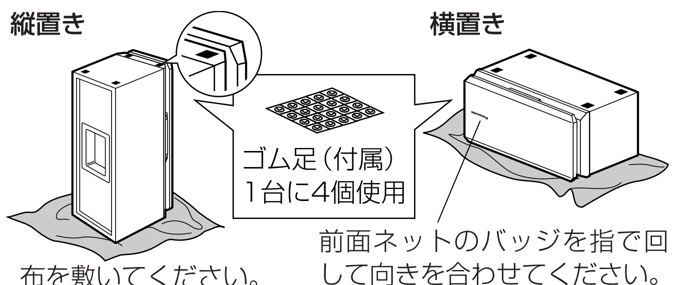
松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

設置のしかた

- 本機は5台とも同じです。フロント、センター、サラウンドスピーカーとして、ご使用ください。
- スピーカーは、縦横どちらでも設置できます。

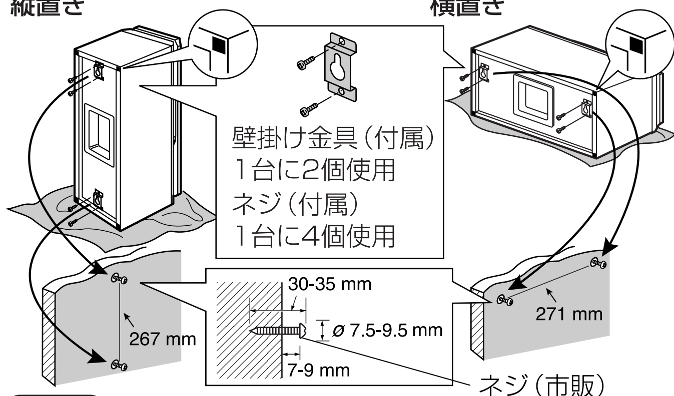
■ゴム足（付属）の取り付け

各スピーカーとも振動による移動や転倒を防ぐため、設置する方向の底面にゴム足（付属）を貼ってください。



■サラウンドスピーカーの取り付け（壁掛け）

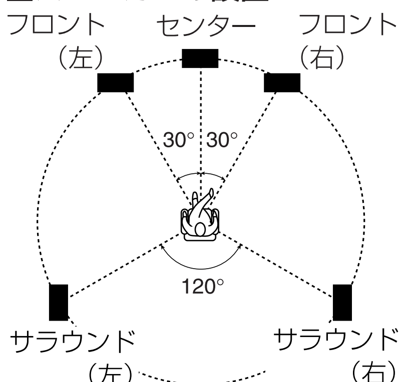
落下を防ぐため、付属の壁掛け金具とネジをご使用ください。ゴム足（付属）は壁に接触する面の四隅に貼ってください。



お願い

取り付ける壁には、13 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。くわしくは施行業者の方などにご相談ください。

■スピーカーの設置



視聴位置からフロント／センター／サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。
なお、角度はあくまでも目安です。

- センタースピーカーを直接テレビの上に置くと、振動によりテレビ画面が乱れることがあります。ラックや棚などに設置してください。
- スピーカーコードを接続した状態でスピーカーを移動しないでください。ショートなどの原因になることがあります。
- スピーカーコードの配線処理は、束ねてひもでくくるなどして、確実に行ってください。

次のような設置場所は避けてください。

- 直射日光のあたる場所など温度が高いところ
- 振動の多いところや湿気の多いところ

■よりよい音響効果を得るための設置

スピーカー設置方法によっては、低音の量や音像定位など、音質が変わる場合がありますので、以下のことを参考にして設置してください。

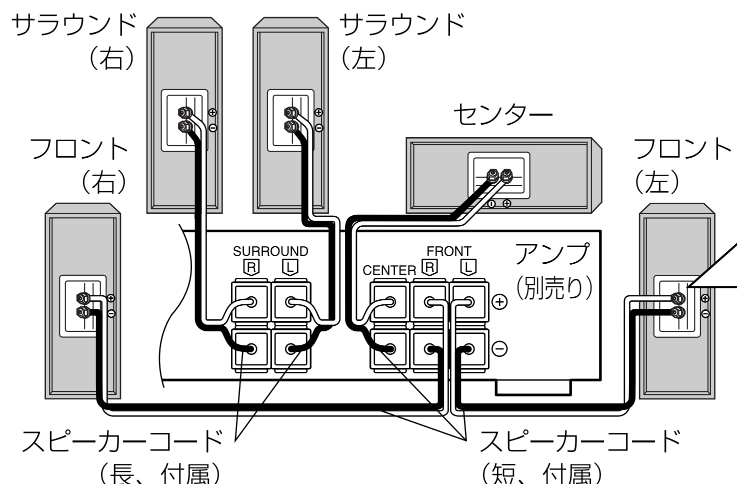
- 平らで安定した場所に設置してください
- 床、壁、コーナーに近づけて設置すると低音が増えすぎる場合があります
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛けることをおすすめします
- 高音用ユニット（ツィーター）部を耳の高さに合わせることをおすすめします

接続のしかた

■接続の前に

- インピーダンスが6 Ωのスピーカーに適合したアンプをご使用ください。
- アンプの電源を切ってください。
- スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

■スピーカーコードの接続

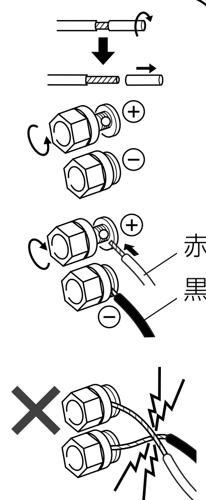


❶ 先端の表皮をねじりながら、抜き取る。

❷ 穴が見えるまで、つまみを回してゆるめる。

❸ 穴に芯線を差し込み、つまみを締める。

❹ 各スピーカーも同様に接続してください。



お願い

スピーカーコードの赤(+)、黒(−)は絶対にショートさせないでください。

使用上のお願い

■本スピーカーのインピーダンスと許容入力

インピーダンス：6 Ω
許容入力：100 W（DIN）

お願い

本スピーカーが接続できるアンプは、定格出力が100 W（インピーダンスが6 Ωのとき）またはそれ以下のものに限ります。
この定格以上のアンプを使用すると過大入力による異常音が発生したり、アンプやスピーカーが破損したり、火災の危険が生じる場合があります。もし、破損が生じたり、演奏中に突然異常が生じたときは、システムの電源コードを抜いて専門のサービスマンにご相談ください。
なお、アンプによっては複数の定格出力を記載しているものがありますのでよくご確認ください。

■大きな音量で連続使用しない

スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因になることがあります。

■通常の使用時でも以下のような場合は、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

- 再生音が歪んだとき
- マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わるとき
- 音質調整をするとき
- 電源ボタンを入／切するとき

■レコードプレーヤーのハウリングを防ぐために

レコードプレーヤーに振動が伝わり、ハウリング（ワーン、キーンという音）を起こすことがあります。距離を十分にあけるか、レコードプレーヤーの下にフェルトなどを敷くと防げます。

■保護回路について

本機には保護回路が備わっています。アンプからパワーが強すぎるなどの異常な信号が入ってきたときは、保護回路が働いて自動的に信号入力が遮断されます。

- **再生中、音が急に途切れたら・・・**

❶アンプの音量を下げる
❷再生ソースや接続に異常（ショートなど）がないか確かめる
もし異常がなければ、数分後に保護回路が解除され音が出るようになります。

- **保護回路が解除された後は・・・**

アンプの音量を上げすぎないように注意してください。

■テレビに色ムラが生じた場合、テレビとの距離を離す

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム＜防磁設計（EIAJ）＞*ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 分〜30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

＊「防磁設計（EIAJ）」とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■スピーカー前面振動部に触れないでください

ダイアフラムが歪み正しい音がでなくなることがあります。

■磁気を帯びたものを近づけないでください

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

主な仕様

型式	2ウェイ2スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	10 cmコーン型
ツィーター	6 cmリングシェイプド ドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	200 W（ミュージック） 100 W（DIN）
出力音圧レベル	80 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	4 kHz
再生周波数帯域	70 Hz〜50 kHz（−16 dB） 75 Hz〜36 kHz（−10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	129×324×173 mm
質量	約 2.7 kg（付属品除く）

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。


音のエチケット
シンボルマーク

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、スピーカーシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	スピーカーシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SB-HEP20	故障の状況	できるだけ具体的に

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。